

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年1月17日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (1.8)	1/13	0	-0.8	31.28	0	0	0	0
		5	0.2	31.80	0	0	0	0
		10	0.3	31.80	0	10	10	0
		13	0.8	32.32	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年1月30日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (8.0)	1/25	0	-0.5	31.48	0	0	10	0
		5	-0.5	31.52	0	0	0	0
		10	-0.5	31.53	0	0	10	0
		15	-0.5	31.53	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・キュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年2月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (3.0)	2/9	0	-1.2	30.84	0	10	0	0
		5	-1.0	31.97	0	0	0	0
		10	-1.0	32.00	0	0	10	0
		13	-0.8	32.09	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

1月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年2月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (16.0)	2/27	0	-2.2	32.69	0	0	0	0
		5	-1.5	32.14	0	0	0	0
		10	-1.5	32.10	0	0	0	0
		15	-1.5	32.09	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

2月の根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年3月13日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (1.5)	3/6	0	-0.2	31.77	0	0	10	0
		5	-0.4	31.99	0	0	0	0
		10	-0.4	32.03	0	0	0	0
		13	-0.4	32.05	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコノラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

3月の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月3日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (6.0)	3/30	0	-0.2	31.50	0	0	0	0
		5	-0.4	31.49	0	0	0	0
		10	-0.6	31.58	0	0	0	0
		15	-1.0	31.69	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント
 3月の根室海峡(標津)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	4/3	0	3.2	30.78	0	0	10	0
		5	1.2	31.88	0	0	0	0
		10	0.5	31.97	0	0	0	0
		13	0.6	31.99	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	4/4	0	4.2	33.99	0	0	30	0
-		10	4.2	33.99	0	0	20	0
		15	4.2	33.99	0	0	10	0
		20	4.2	33.99	0	0	40	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別 -	4/11	0	4.66	33.45	0	0	10	0	
		10	4.39	33.99	0	0	20	0	
		20	4.37	34.01	0	0	0	10	
		30	4.37	33.99	0	0	0	10	
標津 -	4/14	0	-	-	0	0	0	0	
		5	-	-	0	0	10	0	
		10	-	-	0	0	0	0	
		15	-	-	0	0	0	0	
常呂 (6.0)	4/17	0	2.8	33.00	0	0	50	0	
		10	2.8	33.15	0	0	40	0	
		20	3.4	33.26	0	0	40	0	
		30	3.3	33.28	0	0	60	0	
サロマ湖 (3.5)	4/17	0	3.0	30.75	0	0	20	0	
		3	2.9	30.76	0	0	30	0	
		6	2.6	30.90	0	0	10	0	
		9	2.5	31.01	0	0	0	0	
		12	2.6	31.17	0	0	0	0	
		15	2.3	31.79	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
能取湖 (3.7)	4/14	0	1.5	30.03	0	0	10	0	Di
		10	1.5	31.86	0	0	10	10	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ=旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月24日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (3.5)	4/17	0	7.36	31.91	0	0	10	0	
		10	6.55	33.78	0	0	100	0	
		20	6.43	33.86	0	0	20	0	
		30	6.27	33.91	0	0	0	0	
厚岸 (1.5)	4/21	0	2.1	30.08	0	0	0	0	
		5	1.8	31.64	0	0	0	0	
		10	1.5	31.79	0	0	0	0	
		13	1.0	32.01	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサントリウム・タマレンセ =旧名 フロコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

4月中～下旬の石狩湾および太平洋東部海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、浜益でデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年4月27日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
猿払 (-)	4/21	0	4.63	33.68	0	0	110	0		
		10	4.62	33.72	0	0	70	0		
		15	4.61	33.72	0	0	80	0		
		20	4.61	33.72	0	0	50	0		
紋別 (5.0)	4/19	0	4.0	33.18	0	0	140	20	Dro	
		15	4.4	33.40	0	0	120	10	Dro	
		25	4.5	33.76	0	0	40	0		
		36.3	4.3	33.81	0	0	20	0		
常呂 (7.0)	4/24	0	0.9	32.46	0	0	20	0		
		10	1.7	32.68	0	0	230	0		
		20	3.8	33.32	0	0	70	0		
		30	4.2	33.44	0	0	50	0		
サロマ湖 (6.2)	4/24	0	4.1	31.19	0	0	20	10	Dn	
		3	4.2	30.99	0	0	60	0		
		6	4.3	31.31	0	0	20	0		
		9	3.9	31.69	0	0	0	0		
		12	3.8	31.78	0	0	0	0		
		15	4.0	32.03	0	0	10	0		

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

4月中～下旬の宗谷北部、網走北部、網走中部およびサロマ湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月2日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
増毛 (10.0)	4/24	0	6.6	33.24	0	0	30	0	
		10	6.4	33.78	0	0	230	0	
		20	6.1	33.95	0	0	100	0	
		30	6.2	33.99	0	0	0	0	
能取湖 (5.6)	4/24	0	4.3	30.37	0	0	20	0	
		10	3.4	32.02	0	0	40	0	
標津	4/27	0	-	-	0	0	0	0	
		5	-	-	0	0	0	0	
		10	-	-	0	0	10	0	
		15	-	-	0	0	0	0	
厚岸 (2.0)	5/1	0	7.1	29.60	0	0	0	0	
		5	3.2	31.45	0	0	0	0	
		10	1.5	31.97	0	0	0	0	
		13	1.3	32.05	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェンガ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがやや多く出現している海域があります。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (7.0)	4/25	0	10.0	33.86	0	0	20	0	
		10	9.8	33.87	0	0	0	0	
		20	9.7	33.99	0	0	0	0	
		30	9.6	33.99	0	0	0	0	
常呂 (7.0)	5/8	0	7.0	33.10	0	0	20	0	
		10	6.9	33.15	0	0	90	0	
		20	6.8	33.15	0	0	50	0	
		30	6.8	33.18	0	0	80	0	
サロマ湖 (7.8)	5/8	0	8.7	31.48	0	0	90	10	Dro
		3	8.7	31.50	0	0	140	0	
		6	7.5	31.60	0	0	20	0	
		9	6.1	32.02	0	0	20	0	
		12	4.6	32.39	0	0	0	0	
		15	4.6	32.41	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、網走中部およびサロマ湖でディノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (8.0)	5/8	0	7.0	32.82	0	0	120	0
		10	6.5	33.29	0	0	130	0
		20	6.3	33.37	0	0	90	0
		30	6.0	33.51	0	0	30	0
猿払 -	5/9	0	7.8	33.18	0	0	10	0
		10	7.9	33.16	0	0	40	0
		15	7.9	33.16	0	0	30	0
		20	7.9	33.17	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 *プロトコニオラックス・タマレンシス*

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
頓別	5/11	0	8.1	33.14	0	0	20	0
-		10	7.9	33.28	0	0	50	0
		20	7.6	33.48	0	0	10	0
		30	7.4	33.59	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月23日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (7.0)	5/15	0	10.0	32.63	0	40	40	0	Dru
		10	9.9	32.81	0	10	10	20	
		20	9.8	32.96	0	0	10	0	
		30	9.7	33.61	0	0	10	0	
増毛 (12.0)	5/16	0	10.0	33.32	0	0	0	0	Dru
		10	10.1	33.68	0	10	0	10	
		20	10.0	33.89	0	0	10	0	
		30	9.6	33.93	0	0	0	10	
能取湖 (5.5)	5/16	0	8.0	32.34	0	0	70	0	Dru
		10	7.9	32.41	0	0	130	10	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェーガ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月24日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (10.0)	5/19	0	7.6	33.59	0	0	0	0
		15	7.3	33.57	0	0	10	0
		25	7.3	33.57	0	0	0	0
		38	7.2	33.56	0	0	0	0
江差 (8.0)	5/17	0	11.4	33.69	0	0	10	0
		10	11.2	33.72	0	0	0	0
		20	11.0	33.81	0	0	0	0
		30	10.9	33.84	0	0	0	0
常呂 (7.0)	5/22	0	9.7	32.80	0	10	10	0
		10	8.4	33.37	0	0	0	0
		20	8.2	33.38	0	0	0	0
		30	7.4	33.55	0	0	0	0
サロマ湖 (7.0)	5/22	0	12.1	32.17	0	0	0	0
		3	10.5	32.23	0	0	50	0
		6	8.5	32.51	0	0	0	0
		9	8.5	32.67	0	0	0	0
		12	7.9	32.78	0	0	10	0
		15	7.7	33.01	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	Dn 細胞/L	
厚岸 (3.0)	5/25	0	9.8	30.53	0	0	0	0	
		5	6.2	31.66	0	0	0	0	
		10	5.3	32.14	0	0	0	30	Dn
		12	4.9	32.13	0	0	0	10	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年5月31日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 -	5/23	0	9.8	33.35	0	0	0	0	
		10	9.8	33.39	0	0	10	30	Dru10, Di20
		15	9.5	33.58	0	0	10	0	
		20	9.5	33.62	0	0	0	10	Dru
標津 (11.0)	5/29	0	8.1	31.22	0	0	40	10	Dn
		5	7.1	31.69	0	0	50	0	
		10	6.7	31.73	0	0	80	40	Dn20, Dru20
		15	1.9	32.30	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、インファンディブラ、ノルウェジカおよびルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月5日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
網走 (8.0)	5/26	0	9.2	33.60	0	0	0	0
		10	8.9	33.66	0	0	10	0
		20	8.6	33.69	0	0	0	0
		30	8.6	33.70	0	0	20	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月7日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (11.0)	5/31	0	13.7	32.25	0	0	20	0	Di
		10	13.4	33.47	0	0	0	10	
		20	12.4	33.81	0	10	0	0	
		30	12.3	33.94	0	0	0	0	
能取湖 (6.4)	5/30	0	14.3	32.00	0	0	0	0	
		10	9.8	33.06	0	0	20	0	
厚岸 (3.0)	6/6	0	8.3	31.17	30	0	20	0	
		5	7.0	31.91	10	0	20	50	Dn
		10	6.3	32.00	0	0	10	50	Dn
		13	5.8	32.04	0	0	10	10	Dn

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

6月上旬の太平洋東部(厚岸)海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが最高30細胞/L出現しました。
 日本海北部(増毛)および能取湖海域では、Atは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月9日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (4.0)	6/5	0	10.0	32.87	0	10	0	0	
		10	9.1	33.56	0	40	0	0	
		20	8.9	33.61	0	0	0	0	
		30	8.3	33.68	0	0	0	0	
サロマ湖 (4.0)	6/5	0	10.2	28.86	0	100	10	0	
		3	11.4	32.32	0	70	0	0	
		6	10.2	32.41	0	0	0	0	
		9	10.1	32.48	0	0	0	0	
		12	9.8	32.80	0	0	0	0	
		15	9.1	33.04	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (5.0)	6/8	0	10.7	30.29	90	0	20	20	Dru20
		5	7.5	31.81	10	0	50	40	Dn10, Dru30
		10	6.7	31.89	0	0	10	0	
		15	5.9	32.01	0	0	10	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルウェジカおよびルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月16日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	6/7	0	8.5	33.99	0	0	0	0
-		10	8.5	33.94	0	0	0	0
		15	8.4	33.93	0	0	10	0
		20	8.3	33.94	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (5.0)	6/13	0	9.7	33.80	0	0	0	0	Dru
		15	9.7	33.89	0	0	0	0	
		25	9.6	33.88	0	0	10	10	
		38.1	9.6	33.87	0	0	0	0	
能取湖 (5.0)	6/12	0	11.9	32.42	0	40	80	20	Di
		10	11.8	32.51	0	60	50	0	
網走 (10.0)	6/13	0	9.0	32.78	0	0	20	10	Di
		10	8.1	33.57	0	0	0	0	
		20	8.3	33.78	0	0	0	0	
		30	8.2	33.76	0	0	0	0	
増毛 (13.0)	6/13	0	13.9	33.17	0	0	0	10	Dru
		10	12.5	33.85	0	0	10	10	
		20	11.8	33.79	0	0	0	0	Dru
		30	11.0	33.99	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウヰヰカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジヰイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、インファンディブラおよびルジヰイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別 -	6/13	0	11.07	33.66	0	0	0	0	
		10	10.46	33.78	0	0	0	0	
		20	10.37	33.81	0	0	0	0	
		30	10.26	33.84	0	0	0	0	
猿払 -	6月16日	0	10.88	33.73	0	0	0	0	
		10	10.85	33.79	0	10	0	0	
		15	10.85	33.79	0	0	0	0	
		20	10.85	33.79	0	0	0	0	
厚岸 (8.5)	6/19	0	11.2	31.43	20	0	200	50	Dn20, Dru30
		5	9.6	31.77	0	0	290	110	Dn80, Dru30
		10	7.9	32.19	0	0	140	90	Dn80, Dru10
		13	6.3	32.23	0	0	170	200	Dn
常呂 (10.0)	6/19	0	12.1	33.56	10	0	0	0	
		10	11.0	33.69	0	0	10	0	
		20	10.6	33.76	0	0	0	0	
		30	10.6	33.80	0	20	0	0	
サロマ湖 (7.0)	6/19	0	15.2	31.70	0	0	20	30	Di10, Dru20
		3	13.8	32.09	0	60	70	40	Dn10, Di20, Dru10
		6	11.6	32.49	0	70	0	0	
		9	10.3	32.74	0	20	40	0	
		12	9.9	32.91	0	0	30	0	
		15	9.4	33.02	0	0	40	10	Dn10

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは網走中部海域(常呂)でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキミナータおよびノルヴェジカが主に出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年6月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (12.0)	6/19	0	14.0	33.82	0	0	0	0	
		10	12.2	33.94	0	0	0	0	
		20	11.2	33.93	0	0	0	0	
		30	9.6	34.10	0	0	0	0	
能取湖 (6.1)	6/23	0	14.9	-	0	70	30	10	Dn
		10	12.6	-	0	310	100	30	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖海域でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルヴェジカが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月3日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (13.0)	6/26	0	14.4	33.73	0	20	0	10	Di
		10	13.5	33.99	0	30	10	0	
		20	12.8	34.00	0	0	0	0	
		30	12.3	34.00	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびインファンディブラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月5日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (10.0)	7/3	0	12.8	33.63	0	0	0	0	
		10	12.4	33.72	0	0	0	0	
		20	12.1	33.78	0	0	0	0	
		30	11.7	33.84	0	0	0	0	
サロマ湖 (4.1)	7/3	0	15.5	31.25	0	20	0	0	
		3	14.4	31.85	0	170	0	0	
		6	13.2	32.30	10	110	0	0	
		9	12.7	32.42	0	120	10	0	
		12	12.1	32.59	0	90	0	0	
		15	11.7	32.73	0	0	0	0	
厚岸 (6.0)	7/3	0	14.0	31.25	0	0	70	60	Dn50,Dru10
		5	8.8	31.96	0	0	160	310	Dn
		10	7.0	32.24	0	0	180	170	Dn
		13	6.7	32.26	0	0	60	90	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月上旬のサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが10細胞/L出現しました。

網走中部および太平洋東部海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータおよびノルヴェジカがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月11日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (23.0)	6/28	0	15.6	33.30	0	10	0	0
		10	14.1	33.93	0	0	0	0
		20	13.2	33.94	0	0	0	0
		30	12.1	33.96	0	0	0	0
猿払 -	7/4	0	13.1	33.86	0	0	0	0
		10	13.1	33.86	0	0	0	0
		15	13.1	33.86	0	0	0	0
		20	13.1	33.86	0	0	0	0
標津 (9.0)	7/7	0	13.8	32.15	20	0	0	0
		5	11.8	32.32	30	0	20	0
		10	9.1	32.64	0	10	0	0
		15	9.1	33.02	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtが標津(根室海峡海域)で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティやアキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
増毛 (19.0)	7/10	0	18.7	32.75	0	0	0	10	Dro
		10	16.9	33.92	0	0	0	10	Dro
		20	14.8	33.89	0	0	0	10	Di
		30	13.4	33.93	0	10	0	0	
網走 (9.0)	7/10	0	15.9	33.46	0	0	0	0	
		10	13.7	33.76	0	10	0	0	
		20	12.7	33.88	0	0	0	0	
		30	12.7	33.88	0	0	0	0	
頓別 -	7/10	0	15.6	33.66	0	0	0	0	
		10	15.5	33.63	0	0	0	0	
		20	15.5	33.64	0	0	0	0	
		30	15.5	33.67	0	0	0	10	Dru

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
常呂 (6.0)	7/18	0	16.8	33.24	0	20	0	0	
		10	15.4	33.71	0	10	0	0	
		20	15.3	33.72	0	0	0	0	
		30	15.3	33.74	0	0	0	0	
サロマ湖 (3.0)	7/18	0	18.8	30.46	20	60	10	0	
		3	18.6	32.46	0	90	30	50	Dro40, Di10
		6	16.3	33.10	0	150	10	10	Dn
		9	15.5	32.98	0	300	40	0	
		12	14.4	33.06	0	470	10	0	
能取湖 (5.3)	7/14	0	21.1	32.58	0	0	0	0	
		10	14.5	33.21	0	210	170	20	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬のサロマ湖海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが20細胞/L出現しました。
 網走中部および能取湖海域では出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖と能取湖でデイノフィシス・フォルティがやや多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (3.0)	7/21	0	17.7	31.27	20	0	280	50	Dn20, Dru30
		5	13.3	31.95	0	0	410	210	Dn
		10	10.6	32.22	0	10	330	160	Dn
		13	9.5	32.34	0	0	110	80	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

7月下旬の太平洋東部海域(厚岸湾央)で、麻痺性貝毒プランクトンAtが20細胞/L出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータおよびノルヴェジカがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月27日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 -	7/19	0	16.4	33.60	0	0	0	0	
		10	16.4	33.64	0	0	0	0	
		15	16.4	33.64	0	0	0	0	
		20	16.4	33.64	0	0	0	0	
増毛 (22.0)	7/20	0	21.7	32.69	0	0	0	0	
		10	20.4	33.42	0	0	0	0	
		20	16.8	33.69	0	0	0	10	Dru
		30	15.1	33.91	0	10	0	0	
浜益 (4.5)	7/20	0	21.2	31.11	0	0	0	0	
		10	20.7	31.88	0	0	0	0	
		20	19.3	32.99	0	0	0	0	
		30	16.7	33.67	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、日本海北部海域(増毛)デイノフィシス・フォルティなどがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年7月31日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (20.0)	7/21	0	23.0	34.01	0	0	0	0	
		10	22.8	34.02	0	0	0	10	Dm
		20	21.5	34.14	0	0	0	10	Dm
		30	20.5	34.18	0	0	0	0	
紋別 (10.0)	7/24	0	17.0	33.57	0	0	0	0	
		15	16.2	33.76	0	0	0	0	
		25	15.7	33.84	0	0	10	0	
		37.2	15.5	33.81	0	10	0	0	
能取湖 (5.0)	7/25	0	20.0	32.78	0	20	0	0	
		10	16.6	33.29	20	360	20	80	Dn
標津 -	7/28	0	-	-	30	0	0	0	
		5	-	-	10	10	10	0	
		10	-	-	0	10	0	0	
		15	-	-	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは能取湖海域と根室海峡海域(標津)で出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖海域でデイノフィシス・フォルティが多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年8月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (4.5)	8/8	0	17.1	31.57	0	10	170	70	Dru60, Di10
		5	14.3	32.30	10	40	170	130	Dn80, Dru20, Di30
		10	12.7	32.46	0	190	450	120	Dn100, Dru10, Di10
		13	12.1	32.48	10	90	270	160	Dn150, Di10

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトネオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

8月上旬の太平洋東部海域(厚岸湾央)で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しました。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびノルヴェジカがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年8月18日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
網走 (12.0)	8/7	0	19.5	33.49	0	0	0	0	
		10	17.3	33.74	0	0	0	0	
		20	16.5	33.81	0	0	10	10	Dro
		30	16.3	33.79	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年8月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
猿払 -	8/17	0	17.1	33.89	0	0	0	0		
		10	17.0	33.88	0	10	0	0		
		15	16.9	33.89	0	0	0	0		
		20	16.6	33.90	0	0	0	0		
頓別 -	8/17	0	18.0	33.89	0	0	0	0		
		10	18.0	33.89	0	0	0	0		
		20	17.6	33.89	0	0	0	10	Dru	
		30	17.6	33.83	0	0	0	0		
紋別 (17.0)	8/21	0	19.2	33.76	0	0	0	0		
		15	17.9	33.91	0	0	0	0		
		25	17.6	33.91	0	0	0	10	Dro	
		41.5	17.4	33.92	0	0	0	10	Dru	
厚岸 (4.0)	8/23	0	18.6	31.69	0	340	2,660	30	Dn10, Di20	
		5	16.1	32.48	100	700	3,240	160	Dn80, Di80	
		10	14.1	32.51	60	250	1,630	160	Dn30, Di130	
		13	13.8	32.56	20	0	50	30	Dn10, Di20	
常呂 (16.0)	8/21	0	19.2	33.82	0	0	0	0		
		10	17.9	33.87	0	0	0	0		
		20	17.6	33.87	0	0	0	0		
		30	17.1	33.77	0	0	0	0		
サロマ湖 (8.0)	8/21	0	20.1	33.57	30	0	0	0		
		3	20.0	33.57	10	Aa10	0	0		
		6	20.0	33.56	10	Aa10	0	0	10	Dro
		9	17.6	33.56	20	0	0	0		
		12	16.8	33.70	0	0	0	0		
		15	16.0	33.71	0	10	10	0		

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは太平洋東部海域(厚岸)でやや多く出現しており、サロマ湖海域でも出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・フォルティとアキュミナータがかなり多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG40)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年9月4日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (17.0)	8/23	0	23.6	33.88	0		0	0	0
		10	22.5	33.90	0		0	0	0
		20	15.9	34.19	0		0	0	0
		30	12.2	34.28	0		0	0	0
浜益 (7.5)	8/24	0	22.3	32.71	0		0	0	20 Dm
		10	22.2	33.84	0		0	0	10 Dro
		20	20.7	33.86	0		0	0	0
		30	19.0	33.94	0		0	0	0
能取湖 (4.5)	8/24	0	21.1	33.45	0		0	10	10 Dro
		10	19.0	33.55	0	Aa930	10	0	20 Dro10, Di10
増毛 (15.0)	8/28	0	22.0	33.40	0		0	0	0
		10	22.1	33.47	0		0	0	0
		20	22.2	33.86	0		0	0	10 Dro
		30	21.3	33.97	0		0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・フォルティ、アキュミナータなどがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年9月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
厚岸 (3.2)	9/6	0	16.9	32.48	0	0	760	0	
		5	16.0	32.80	0	90	390	10	Dn
		10	15.3	33.10	0	0	170	0	
		13	15.3	33.10	0	0	0	10	Dn

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月上旬の太平洋東部海域(厚岸湾央)で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年9月13日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	9/5	0	18.2	33.93	0	0	0	0
-		10	17.7	34.03	0	0	0	0
		15	17.6	34.02	0	0	0	0
		20	17.3	34.07	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

9月上旬の宗谷北部海域(猿払)で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年9月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Aa20	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖 (3.8)	9/19	0	18.4	33.45	0		70	0	10	Dm
		3	18.4	33.44	0	Aa20	50	10	0	
		6	18.3	33.45	0		0	0	0	
		9	18.3	33.50	0		20	0	0	
		12	18.3	33.51	0		0	0	0	
		15	18.3	33.51	0		0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtはサロマ湖海域で出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、主にてデイノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG44)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年9月26日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.7)	9/15	0	18.7	33.39	0	Aa20	0	0	30	Dro20, Dm10
		10	19.1	33.65	0	Aa80	0	0	0	
標津 -	9/22	0			0		0	0	10	Dru
		5			0		0	0	30	Dru10, Di20
		10			10		0	0	0	
		15			10		0	0	10	Di

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは根室海峡(標津)海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータ、ミトラ、ルジエイ、インファンディブラわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YG45)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年9月29日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (2.5)	9/20	0	19.2	28.00	0	0	0	0
		10	19.9	33.59	0	0	0	0
		20	19.8	33.89	0	0	0	0
		30	19.8	33.98	0	0	0	0
増毛 (14.0)	9/22	0	20.1	33.59	0	0	0	0
		10	19.7	33.88	0	0	0	0
		20	19.7	33.89	0	0	0	0
		30	19.6	33.90	0	0	0	10
常呂 (11.0)	9/25	0	17.1	33.85	0	0	0	0
		10	16.8	34.00	0	0	0	0
		20	16.7	34.01	0	0	0	0
		30	16.6	34.00	0	0	0	0

Dro

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、日本海北部(増毛)海域でディノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年10月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (18.0)	9/26	0	21.8	33.77	0	0	0	0	0
		10	21.7	33.76	0	0	0	0	0
		20	21.7	33.77	0	0	0	0	0
		30	19.6	34.01	0	0	0	0	0
厚岸 (2.5)	10/4	0	14.0	31.76	0	0	90	0	0
		5	13.8	32.87	0	10	30	0	0
		10	12.9	33.03	0	0	30	0	0
		13	11.1	33.14	0	0	0	0	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとフォルティが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年10月13日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払	10/3	0	17.7	33.85	0	0	0	0
-		10	17.7	33.87	0	0	0	0
		15	17.7	33.87	0	0	0	0
		20	17.7	33.87	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

10月上旬の宗谷北部海域(猿払)で、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しております。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年10月20日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
江差 (12.0)	10/16	0	17.0	34.09	0	0	0	0
		10	17.0	34.08	0	0	0	0
		20	16.9	34.06	0	0	0	0
		30	16.7	34.07	0	0	0	0
常呂 (14.0)	10/16	0	14.3	33.84	0	0	0	0
		10	14.3	33.92	0	0	0	0
		20	13.8	33.91	0	0	0	0
		30	12.9	33.90	0	0	0	0
サロマ湖 (4.0)	10/17	0	14.2	33.64	0	0	0	0
		3	14.2	33.68	0	0	0	0
		6	14.2	33.68	0	0	0	0
		9	14.2	33.68	0	0	0	0
		12	14.2	33.70	0	0	0	0
		15	14.3	33.75	0	0	0	0

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年10月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (6.0)	10/17	0	16.0	33.48	0	0	0	0	Dru
		10	16.1	33.57	0	0	0	10	
		20	16.5	33.78	0	0	0	0	
		30	16.5	33.87	0	0	0	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ルジエイがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 #####

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (5.7)	10/19	0	12.9	33.63	0	10	0	0	
		10	12.9	33.68	0	0	0	10	Dru
標津	10/25	0	-	-	0	10	0	0	
		5	-	-	0	0	20	20	Di
		10	-	-	0	0	40	10	Di
		15	-	-	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータなどが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC51)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年11月8日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (2.5)	11/6	0	10.2	32.28	0	0	10	0
		5	10.3	32.39	0	0	20	0
		10	11.1	33.12	0	0	50	0
		13	11.2	33.14	0	0	10	0

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC52)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

#####

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	11/7	0	9.7	34.01	0	0	0	0
		10	9.7	34.00	0	0	0	0
		15	9.7	34.00	0	0	0	0
		20	9.7	34.00	0	0	0	0
増毛 (11.0)	11/10	0	12.2	33.24	0	0	40	0
		10	12.7	33.48	0	0	10	0
		20	12.7	33.98	0	0	10	0
		30	12.7	34.02	0	0	0	0
浜益 (6.5)	11/10	0	12.5	33.47	0	0	0	0
		10	12.6	33.53	0	0	0	0
		20	13.1	33.90	0	0	0	0
		30	12.9	33.88	0	0	0	0
常呂 (16.0)	11/14	0	5.1	32.06	0	10	100	0
		10	5.2	32.20	0	0	10	0
		20	5.5	32.36	0	0	30	0
		30	5.5	32.36	0	0	70	0
サロマ湖 (4.5)	11/13	0	7.2	32.13	0	0	90	0
		3	7.2	32.17	0	0	10	0
		6	7.3	32.23	0	0	70	0
		9	7.4	32.32	0	0	0	0
		12	7.3	32.34	0	0	10	0
		15	7.1	32.32	0	0	10	0

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da = Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di = Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn = Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは増毛、常呂およびサロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC53)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年12月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (11.5)	11/21	0	5.2	32.11	0	0	210	0	
		10	5.2	32.20	0	0	170	0	
江差 (7.0)	11/22	0	12.4	33.56	0	0	0	10	Dru
		10	13.1	33.91	0	0	0	0	
		20	13.4	34.05	0	0	0	10	Dru
		30	13.3	34.04	0	0	0	0	
標津 (11.0)	11/29	0	5.8	32.41	0	0	70	0	
		5	5.8	32.41	0	0	30	0	
		10	5.8	32.42	0	10	70	0	
		15	5.9	32.44	0	0	20	0	

*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖と標津でデイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC54)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2017年12月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.0)	12/4	0	3.7	32.12	0	0	10	10	Di
		5	5.8	33.07	0	0	0	10	Di
		10	6.0	33.12	0	0	20	10	Di
		13	6.0	33.13	0	0	10	0	
サロマ湖 (6.8)	12/4	0	2.3	31.98	0	0	20	0	
		3	2.3	32.00	0	0	30	0	
		6	2.3	32.00	0	0	10	0	
		9	2.3	32.00	0	0	50	0	
		12	2.3	32.00	0	0	40	0	
		15	2.0	32.11	0	0	0	0	

*At = *Alexandrium tamarense*アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス
 Aa = *Alexandrium affine*アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)
 Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは厚岸およびサロマ湖でデイノフィシス・アキュミナータなどが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC55)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2017年12月25日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (8.0)	12/20	0	3.8	32.36	0	0	100	0	
		5	3.8	32.36	0	0	60	0	
		15	3.9	32.37	0	0	80	20	Dro
		15	3.9	32.37	0	0	60	0	

*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがやや多く出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)